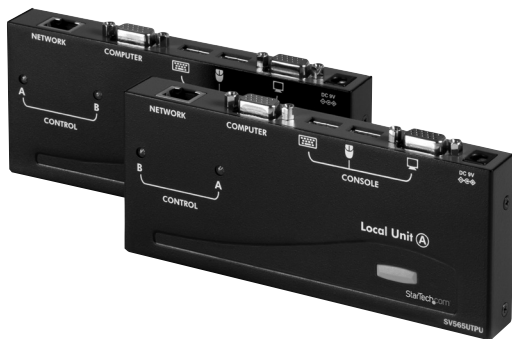


## CAT5 UTP經由VGA USB KVM コンソールエクステンダ (150m)

SV565UTPU  
SV565UTPUGB  
SV565UTPUEU



\*実際の製品は写真と異なる場合があります。

DE: Bedienungsanleitung - [de.startech.com](http://de.startech.com)

FR: Guide de l'utilisateur - [fr.startech.com](http://fr.startech.com)

ES: Guía del usuario - [es.startech.com](http://es.startech.com)

IT: Guida per l'uso - [it.startech.com](http://it.startech.com)

NL: Gebruiksaanwijzing - [nl.startech.com](http://nl.startech.com)

PT: Guia do usuário - [pt.startech.com](http://pt.startech.com)

最新の情報は [www.startech.com](http://www.startech.com) でご確認ください



## FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則/パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合(干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます)、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします:

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

## 商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用場合がありますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

# 目次

はじめに .....	1
パッケージの内容 .....	1
動作環境 .....	1
<b>KVMエクステンダを接続する .....</b>	<b>2</b>
設置場所の準備をする .....	2
ホスト機のインストール .....	3
リモート機のインストール .....	3
<b>ビデオ補正 (リモート機のみ) .....</b>	<b>4</b>
<b>KVMエクステンダを使う .....</b>	<b>5</b>
ホスト機を使う .....	5
リモート機を使う .....	9
最大表示解像度の設定 .....	12
<b>技術仕様 .....</b>	<b>13</b>
<b>技術サポート .....</b>	<b>14</b>
<b>保証に関する情報 .....</b>	<b>14</b>

# はじめに

本SV565UTPU USB VGA KVMコンソールエクステンダ (CAT5 UTP、150 m) は、標準の Cat5またはCat6 UTPネットワークケーブル接続により最大距離150 mでサーバ、コンピュータ、または複数のコンピュータ (KVMスイッチで接続) を制御することができます。本製品にはパソコンの接続ケーブルが同梱されており、特別な設定なしに使用できるソリューションとなっています。

既存のキーボード、マウス、モニターを使用してサーバールームとオフィスのコンピュータにアクセスできます。これによりスペースを節約し、離れた場所のワークステーション表示とKVM表示を切り替えて、専用のリモートコンソールが不要になります。

StarTech.comでは2年間保証と永久無料技術サポートを提供しています。

## パッケージの内容

- 1 x ホスト機
- 1 x リモート機
- 2 x 1.5 m 2-in-1 USB VGA KVMケーブル
- 8 x ゴム足
- 2 x ユニバーサル電源アダプタ
- 1 x ユーザマニュアル

## 動作環境

- 1 x ホストコンピュータとリモートコンピュータそれぞれに一体型KVMケーブル  
StarTech.comからさらに長いケーブルが販売されています。部品番号: SVECONx (PS/2)、SVECONUSx (USB)
- シールド無しカテゴリ5/5e/6ツイストペア (UTP) ストレートスルー ネットワークケーブル - 両端にRJ-45コネクタ端子付き (表面配線の場合)  
または
- シールド無しカテゴリ5/5e/6ツイストペア (UTP) ストレートスルー ネットワークケーブル - 両端に壁面取り付けコンセント付き、ローカルとリモートに標準カテゴリ5/5e/6パッチ ケーブル (構内配線を使用している場合)

**注意:** ホスト機とリモート機間のケーブル長はパッチケーブルを含めて (使用している場合) 150 mを超えることはできません。カテゴリ5eおよび6のケーブルは本製品と互換性があり、優れた性能を発揮します。

**注意:** ホスト機とリモート機間のケーブル長が長いと、高解像度やリフレッシュレートで画質に悪影響を与えることがあります。高解像度と高周波数でリモートディスプレイを動作させる必要がある場合は、可能な限り地点間の配線を少なくし、使用しないケーブルを天井に巻き付けるなどの配線は避けてください。

本製品はKVMスイッチも制御可能ですので、複数のコンピュータをリモートで管理することができます。この構成では、KVMエクステンダのホスト機をKVMの「コンソール」ポートに接続できます。この構成を使用する場合は、付属の電源アダプタを使用する必要があります。ホットキーシーケンスとして[Ctrl]キーを使用するKVMに接続する前に、ホスト機を互換モードに設定する必要があります。詳細は、6ページを参照してください。

## KVMエクステンダを接続する

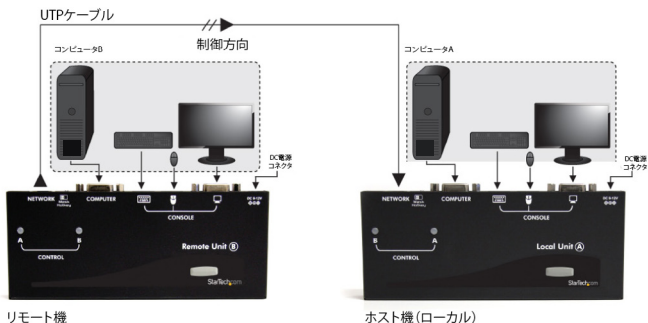
### 設置場所の準備をする

製品をインストールする前に、設置場所の準備をする必要があります。

1. ホストコンピューターの設置場所を決め、コンピューターをセットアップします。
2. コンソールデバイス(マウス、キーボード、モニタ)の設置場所を決め、適切な場所に設置します。
3. a) 表面配線を行う場合、十分なCat 5シールド無しツイストペア (UTP) ネットワーク配線により、ホスト機とリモート機のある場所まで接続し、各端部がRJ-45コネクタで端子処理されていることを確認してください。ネットワーク機器(ルータやスイッチなど)の間を通り配線しないようにしてください。

または

- b) 構内配線を行う場合、ホスト機とリモート機間のCat 5シールド無しツイストペア (UTP) ネットワーク配線が適切にそれぞれの場所の壁コンセントで端子処理されており、リモートユニットとホストユニットをそれぞれのコンセントに接続するためのパッチケーブルの長さが十分あることを確認してください。



## ホスト機のインストール

1. ホスト機をコンピューターの近くに設置します。
2. コンピューターの電源を切り、接続されているデバイスを外します。
3. 付属のStarTech.com一体型KVMケーブルを使用して、2つのUSBまたは3つのPS/2 + VGAコネクタが付いているケーブルの端をVGA出力コネクタとUSB、または必要に応じてコンピューターのマウスとキーボード用のPS/2コネクタに接続します。(PS/2バージョンのケーブルは色分けされています。)シングルコネクタの付いたケーブルの反対側を、KVMエクステンダのホスト機のCOMPUTERとマークされたグレー色のコネクタに接続します。
4. ホストコンピューターへコンソールからアクセスしたい場合は、USBマウス、キーボード、およびVGAモニタを、ホスト機のCONSOLEとマークされたインジケータに接続します。
5. リモート機のUTPケーブル接続をホスト機のNETWORK RJ-45コネクタに接続します。反対側を終端処理されたコンセントに接続します(構内配線を使用している場合)。

**注意:**ホスト機にはホストコンピューターシステムから電力を供給することができません。ホストコンピューターから十分な電力が得られない場合は、電源アダプタ(別売)が必要になることがあります。

## リモート機のインストール

1. リモート機をリモートのキーボード/マウス/モニタの近くに設置します。
2. USBマウス、キーボード、およびVGAモニタを、リモート機のCONSOLEとマークされたインジケータに接続します。

**オプション:** コンピューターをリモート機に直接接続する場合は、コンピューターの電源を切り、使用しているVGAケーブルと入力接続を外します。StarTech.com一体型KVMケーブルを使用して、2つ(USB)または3つ(PS/2)のコネクタが付いているケーブルの端をVGA出力コネクタとUSB、または必要に応じてコンピューターのマウスとキーボード用のPS/2コネクタに接続します。(PS/2バージョンのケーブルは色分けされています。)シングルコネクタの付いたケーブルの反対側を、KVMエクステンダのリモート機のCOMPUTERとマークされたグレー色のコネクタに接続します。

3. リモート機のUTPケーブル接続をリモート機のNETWORK RJ-45コネクタに接続します。反対側を終端処理されたコンセントに接続します(構内配線を使用している場合)。
4. 電源アダプタで、電源コンセントとリモート機を接続します。

**警告!**ホスト機とリモート機を接続するUTPネットワークケーブルには電流が流れているため、別のデバイスに差し込まないようにしてください。これらのデバイスがダメージを受ける恐れがあります。お使いのケーブルには、リモート側にもローカル側にも本製品の名前を書き込み、識別しやすいようにしておくことを強くお勧めしています。

# ビデオ補正 (リモート機のみ)

ビデオ補正機能を使用すると、使用されているケーブルの長さなどの影響する要因に基づいてリモート機のイコライゼーションを調整して、ビデオ性能を最適化することができます。様々な長さのCAT5ケーブルの5つのセグメントから選択できます。最適な可視性を実現するには、「キーボードショートカットコマンドシーケンス」セクションを参照して、ビデオ補正を調整してください。

まず、使用するCAT 5ケーブルの長さを確認してください。次に、必要に応じてホットキーを使用してビデオ補正を調整します。「キーボードショートカットコマンドシーケンス」セクションで説明されているホットキーシーケンスを使用できます。



# KVMエクステンダを使う

このセクションでは、ホストとリモートの両方の場所でKVMエクステンダを使用する方法について詳しく説明します。

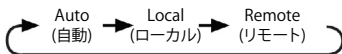
## ホスト機を使う

ホスト機は、ホスト機とリモート機に接続しているユーザが、ホスト機に接続されているデバイス（ホスト、コンピュータ、KVMスイッチ）の制御を共有することを可能にします。

ホスト機には、特定の時間にどのユーザがシステムにアクセスできるかを制御する3つのモードがあります。Auto（自動）（KVMエクステンダはAとBの両方からキーボードまたはマウスの動作を検出し、アクティブなコンソールからの入力を自動的に受信します）、Local（ローカル）（ホスト機のユーザだけがシステムにアクセスできます）、およびRemote（リモート）（リモート機のユーザだけがシステムにアクセスできます）。

キーボードショートカット（キーボードとマウスが接続されている場合）またはホスト機上部にあるモードスイッチのいずれかを使用してボタンを順番に押すことによって、どのユーザがホスト機に接続されているデバイスにアクセスできるかを制御できます。

デフォルトでは、ホスト機はAuto（自動）モードで動作し、以下のようにスイッチを押すたびにシーケンスの次のモードに切り替わります。



多くの拡張機能にアクセスできるため、ホスト機のコンソールポートにキーボードとマウスを接続することをお勧めします。

## LEDインジケータ

モード	Aインジケータ	Bインジケータ
Auto（自動）（アクティビティを検知）	点滅	点滅
Local（ローカル） （ローカル機のユーザが独占制御）	オン（点灯）	オフ
Remote（リモート） （リモート機のユーザが独占制御）	オフ	オン（点灯）

## キーボードショートカットコマンドシーケンス

標準コマンド	互換モードが有効の場合	説明
[Ctrl] - [Ctrl] - [T]	[Ctrl] - [Ctrl] - [T]	コンピュータAの制御をAuto (自動) モード、Local (ローカル) モード、およびRemote (リモート) モードの間で切り替えます
[Ctrl] - [Ctrl] - [Esc]	[Ctrl] - [Ctrl] - [Esc]	ホットキーシーケンスをキャンセルします
[Ctrl] - [Ctrl] - [Alt]+[E]	[Ctrl] - [Ctrl] - [Alt]+[E]	KVMエクステンダが同じく[Ctrl]ホットキーシーケンスを使用するKVMスイッチで動作するように、互換モードを有効(ビープ音2回)または無効(ビープ音1回)にします
[Ctrl] - [Ctrl] - [1]	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [1]	<b>Local (ローカル) モード:</b> ローカル機のユーザがシステムに排他的にアクセスできるようにします。リモート機からのリモートアクセスは無効になります
[Ctrl] - [Ctrl] - [2]	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [2]	<b>Remote (リモート) モード:</b> リモート機のコンソールがコンピューターAに排他的にアクセスできるようにします。ホスト機からのアクセスは無効になります
[Ctrl] - [Ctrl] - [3]	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [3]	<b>Auto (自動) モード:</b> コンソールアクティビティを待機します
[Ctrl] - [Ctrl] - [F3]	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [F3]	ホスト機が制御を引き継いだ後、自動モードに戻る前にホスト機が待機する非アクティブ状態の間隔を秒単位で設定します
[Ctrl] - [Ctrl] - [F4]	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [F4]	キーボードの応答性を向上させるためのタイプマチック(連続作動) レートを調整します (PS/2キーボードのみ)

標準コマンド	互換モードが有効の場合	説明
		<p><b>プライバシー設定:</b></p> <p><b>A. Local (ローカル) モードのローカル機</b></p> <p>(LED B: オフ、LED A: オン)</p> <p>ビープ音1回: 工場出荷時の初期設定にリセットします。</p> <p>ビープ音2/3回: ローカル機の出カビデオ信号を無効化します。</p> <p><b>B. Auto (自動) モードのローカル機</b></p> <p>(LED A&amp;Bが交互に点滅)</p> <p>ビープ音1回: 工場出荷時の初期設定にリセットします。</p> <p>ビープ音2回: キーボード/マウスの起動時に、ローカル機のビデオ出力を一時的に無効にします。(5秒、15秒、30秒または60秒間隔に設定)</p> <p>ビープ音3回: キーボード/マウスの動作が検出されると、リモート機ユーザまたはローカル機ユーザは他の機の出カビデオ信号を一時的に無効化することができます。(ユーザは5秒、15秒、30秒、60秒間プライバシーを保護可能)</p>
[Ctrl] - [Ctrl] - [F6]	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [F6]	PS/2マウスの同期をリセットします
[Ctrl] - [Ctrl] - [F12]	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [F12]	<p>リモート機とホスト機の両方に<b>最大ビデオ解像度</b>を設定します(コンピュータの再起動が必要です)。</p> <p>コードについては12ページをご覧ください。</p>
[Ctrl] - [Ctrl] - [V] - 4桁のコード	[Ctrl] - [Ctrl] - [V] - [E] - 4桁のコード	

## ビーブコード

ホスト機に発行するキーボードコマンドシーケンスには複数の設定が可能です。本機は発行したコマンドに対して選択した設定を知らせるビーブ音を鳴らします。(短いビーブ音とそれに続く長いビーブ音はコマンドが無効であることを知らせています。)

[Ctrl] - [Ctrl] - [Alt]+[E] (互換モード)

ビーブ音1回:無効化

ビーブ音2回:有効化

[Ctrl] - [Ctrl] - [F3] (Autoモードの非アクティブ間隔)

ビーブ音1回:5秒

ビーブ音2回:15秒

ビーブ音3回:30秒

ビーブ音4回:60秒

[Ctrl] - [Ctrl] - [F4] (タイプマチック (連続作動) レート)

ビーブ音1回:6文字/秒

ビーブ音2回:12文字/秒

ビーブ音3回:20文字/秒

ビーブ音4回:30文字/秒

**注意:**[キー] - [キー]形式で記述されたコマンドは、キーをキーボードで順番に押ししていきます。[キー] + [キー]形式で記述されたコマンドは同時に押します。

**注意:**Num Lock、Caps Lock、およびScroll Lockのライトがキーボードで一斉に点滅している場合、他の機がコンピュータAを制御します。他の機がコンピュータAの使用を終了するまで、コンピュータAを使用したりコマンドを発行することはできません。

**注意:**エクステンダが互換モード ([Ctrl] - [Ctrl] - [E]ホットキーシーケンス) で動作している場合、接続されたKVMスイッチのポートEにアクセスするには[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [E]と入力します。

## リモート機を使う

リモート機は、ホスト機がAuto(自動)モードまたはRemote(リモート)モードに設定されている場合、リモート機ユーザがホスト機に接続されたデバイスを制御すること、また、まるでKVMエクステンダが存在しないかのように接続されたシステムを使用することを可能にします。

キーボードショートカットまたはリモート機の上部にあるモードスイッチのいずれかを使用して、AとBの間で制御を交互に行うことができます。ただし、ホスト機とは異なり、リモート機の上部にあるスイッチから選択できるモードは2つだけです。

## LEDインジケータ

モード	Aインジケータ	Bインジケータ
リモートアクセス(コンピュータA)	オン(点灯)	オフ
ローカルアクセス(コンピュータB)	オフ	オン(点灯)

## キーボードショートカットコマンドシーケンス

標準コマンド	互換モードが有効の場合	説明
[Ctrl] - [Ctrl] - [T]	[Ctrl] - [Ctrl] - [T]	コンピュータAとコンピュータB間のコンソール制御を切り替えます。
[Ctrl] - [Ctrl] - [Esc]	[Ctrl] - [Ctrl] - [Esc]	ホットキーシーケンスをキャンセルします
[Ctrl] - [Ctrl] - [Alt]+[E]	[Ctrl] - [Ctrl] - [Alt]+[E]	KVMエクステンダが同じく[Ctrl]ホットキーシーケンスを使用するKVMスイッチで動作するように、互換モードを有効(ビープ音2回)または無効(ビープ音1回)にします

標準コマンド	互換モードが有効の場合	説明
[Ctrl] - [Ctrl] - [1]	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [1]	コンピュータBに制御を切り替えます
[Ctrl] - [Ctrl] - [2]	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [2]	コンピュータAに制御を切り替えます (ホスト機がRemote (リモート) モードまたはAuto (自動) モードの場合のみ入力が許可されます)
[Ctrl] - [Ctrl] - [F2]	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [F2]	コンピュータAとコンピュータB間のコンソール制御を切り替えます
[Ctrl] - [Ctrl] - [F4]	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [F4]	キーボードの応答性を向上させるためのタイプマチック (連続作動) レートを調整します (PS/2キーボードのみ)
[Ctrl] - [Ctrl] - [F11]	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [F11]	2台のコンピュータ間のUTPケーブル長に基づいてリモートビデオ品質を調整します (コンピュータAに切り替えた場合のみ使用可能)
[Ctrl] - [Ctrl] - [F12]	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [F12]	PS/2マウスの同期をリセットします
[Ctrl] - [Ctrl] - [V] - 4桁のコード	[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [V] - 4桁のコード	リモート機とホスト機の両方に <b>最大ビデオ解像度</b> を設定します (コンピュータの再起動が必要です)。 コードについては12ページをご覧ください。

## ビーブコード

リモート機に発行するキーボードコマンドシーケンスには複数の設定が可能です。本機は発行したコマンドに対して選択した設定を知らせるビーブ音を鳴らします。(短いビーブ音とそれに続く長いビーブ音はコマンドが無効であることを知らせています。)

[Ctrl] - [Ctrl] - [Alt]+[E] (互換モード)

ビーブ音1回:無効化

ビーブ音2回:有効化

[Ctrl] - [Ctrl] - [F11] (リモート画像品質調整)

ビーブ音1回:UTPケーブル長:0 ~ 40メートル

ビーブ音2回:UTPケーブル長:40 ~ 80メートル

ビーブ音3回:UTPケーブル長:80 ~ 120メートル

ビーブ音4回:UTPケーブル長:120 ~ 150メートル

[Ctrl] - [Ctrl] - [F4] (タイプマチック (連続作動) レート)

ビーブ音1回:6文字/秒

ビーブ音2回:12文字/秒

ビーブ音3回:20文字/秒

ビーブ音4回:30文字/秒

**注意:**[キー] - [キー]形式で記述されたコマンドは、キーをキーボードで順番に押ししていきます。[キー] + [キー]形式で記述されたコマンドは同時に押します。

**注意:**NumLock、CapsLock、およびScrollLockのライトがキーボードで一斉に点滅している場合、他の機がコンピュータAを制御します。他の機がコンピュータAへのアクセスを解除するまで、コンピュータAを使用することはできません。

**注意:**エクステンダが互換モード ([Ctrl] - [Ctrl] - [E]ホットキーシーケンス) で動作している場合、接続されたKVMスイッチのポートEにアクセスするには[Ctrl] - [Ctrl] - [E] - [E]と入力します。

## 最大表示解像度の設定

デフォルトでは、KVMスイッチは最大表示解像度1024 x 768のEDID信号をホストコンピュータシステムに出力するように設定されています。ホストコンピュータシステムでより高い解像度を設定するには、希望の最大解像度の4桁のコードからなる以下のコードを使います。

**注意:**4桁のコードを入力する際に、テンキーを使わないでください。キーボードの上にある数字キーのみをお使いください。

### 左側<CTRL>、左側<CTRL>、V、4桁のコード

4桁のコード	解像度	4桁のコード	解像度
1007	1024 x 768	1612	1600 x 1200
1208	1280 x 800	1610	1680 x 1050
1210	1280 x 1024	1910	1920 x 1080
1307	1360 x 768	1912	1920 x 1200
1409	1440 x 900	1914	1920 x 1440
1410	1440 x 1050	2011	2048 x 1152
1609	1600 x 900		

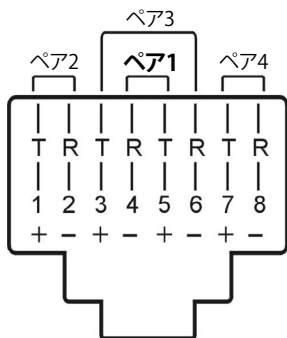
**注意:**新しい設定内容を適用するためにホストコンピュータを再起動する必要があるかもしれません。ホストコンピュータのオペレーティングシステムにより自動的に行われない場合は、表示解像度を新しい最大解像度に手動で設定する必要があるかもしれません。



# 技術仕様

最大解像度	1024 x 768 (最大UTPケーブル長) 実際の最大解像度は、ネットワークケーブルの長さによって異なります
最大距離	150メートル
ネットワーク配線タイプ	ストレートスルーシールド無しツイストペア (UTP) Cat 5+
コネクタ	ホスト機とリモート機それぞれ 2 x HD-15メス (1 x KVM, 1 x コンソールVGA) 1 x RJ-45 2 x USBキーボード/マウス (コンソール用) 1 x 電源 (オプション)
電源アダプタ	9~12V DC、600mA、センターポジティブ (各機) (オプション。従来のKVMスイッチを使用して接続した場合のみ必要)

## RJ-45コネクタピン配列



ピン	配線の色	ペア	機能
1	白/オレンジ	2	T
2	オレンジ	2	R
3	白/緑	3	T
4	青	1	R
5	白/青	1	T
6	緑	3	R
7	白/茶	4	T
8	茶	4	R

# 技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、[www.startech.com/support](http://www.startech.com/support) までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンライン工具、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報は [www.startech.com/downloads](http://www.startech.com/downloads) でご確認ください

## 保証に関する情報

本製品は2年間保証が付いています。

また、StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

### 責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。



見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念です。それは、お客様へのお約束です。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えたワンストップショップです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスを一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はお客様のソリューションを接続するパーツを見つけるお手伝いをしています。

当社はお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトまでアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品をすぐに提示します。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳細な情報は [www.startech.com](http://www.startech.com) までアクセスでご確認ください。ウェブサイトだけの便利な工具をお使いいただけます。

StarTech.comは接続や技術パーツのISO 9001認証メーカーです。StarTech.comは1985年に創立し、米国、カナダ、イギリス、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供しています。